



2021年度 相原地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年11月10日 (水) 18:30~20:00

[場所] 堺市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
相原地区連合町内会 会長代行 寺島 正雄

○ 連合会長の挨拶

相原地区連合町内会 会長 井上 正行

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 コロナ禍における相原地区の医療体制の構築について
【保健所】 【都市づくり部】
- 2 狭あい歩道の拡幅について
【道路部】
- 3 町田街道の渋滞解消について
【道路部】
- 4 相原駅東口の整備状況について
【道路部】
- 5 相原駅西口と相模原をつなぐ道路の整備状況について
【道路部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

相原地区連合町内会 会長代行 寺島 正雄

**2021年度 相原地区 市政懇談会
議事録(要旨)**

[日 時] 2021年11月10日(水) 18:30～20:00

[場 所] 堺市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一
道路部長 神蔵 重徳
都市づくり部長 萩野 功一
保健所保健総務課長 中坪 裕一
保健所保健総務課担当課長 田村 光平
政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子
市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫
相原地区連合町内会長 ほか25名
事務局 市民部市民協働推進課 5名
市民部堺市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長
相原地区連合町内会会長代行

- 相原地区連合会長の挨拶
- 市長の挨拶
- 職員の紹介
- 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 コロナ禍における相原地区の医療体制の構築について

大都市圏では新型コロナウイルスデルタ株の感染拡大、病床不足に伴い、入院調整・中止や一般診療の縮小の状況を呈しております。相原地区においても医療施設は少なく、また隣接市にある病院へのアクセスが悪く、医療体制に不安があります。そのため、相原駅から隣接市にある病院へのアクセスの改善など町田市独自の医療体制の構築をお願いいたします。

【回答】

保健所保健総務課長

日頃より新型コロナウイルス感染症予防対策にご理解ご協力を頂きありがとうございます。おかげさまで、10月1日から緊急事態宣言が解除されました。

議題1の「コロナ禍における相原地区の医療体制の構築について」でございますが、保健所からは、新型コロナウイルス感染症に係る医療・療養体制についてお答えいたします。

発熱などで新型コロナウイルス感染症の感染が疑われ、かかりつけ医での診療ができない場合、町田市発熱相談センターにご連絡頂ければ、「診療・検査医療機関」をご紹介します。

市内に100カ所あり、相原、小山地区にも一般には公開しておりませんが、複数の「診療・検査医療機関」がございます。

新型コロナウイルス感染症と診断された方は、入院治療もしくは、宿泊療養施設か自宅での療養となります。

入院治療の医療機関や宿泊療養のためのホテルの確保などの医療・療養体制の整備は、東京都が行っており、利用にあたって保健所を通じて、東京都全域での調整が行われています。

感染再拡大に備え、東京都では、患者数に応じた病床及び臨時の医療施設などの計画的配備、速やかに宿泊療養できるよう体制を見直すなどの新たな対策を進めていると聞いております。

感染力の強い新たな変異株がいつ現れてもおかしくないといわれており、皆さま方におかれましては、引き続き、基本的な感染予防対策の徹底をお願いいたします。

都市づくり部長

相原駅から隣接市にある病院へのアクセスの改善についてお答えします。

相原駅から隣接市にある病院へのアクセスにつきましては、現在、JR横浜線八王子みなみ野駅から、東京医科大学八王子医療センター、永生（えいせい）病院、みなみ野病院を結ぶ無料シャトルバスが1～2時間おきに運行されております。

また、JR横浜線橋本駅南口から、相模原協同病院へ行く路線バスが朝の7時台には11本、その他の日中の時間帯にも1時間に4～6本運行されております。

いずれもJR横浜線のご利用が必要となりご不便をおかけしますが、既存バスのご利用にご理解ください。

町田市といたしましても、JR横浜線相原駅をはじめとした地域内のアクセス手段について、地域協議会や福祉事業者の皆さまと、新たな地域交通の運行手法を検討しているところです。

なお、路線バス事業者は、慢性的な運転士不足の問題に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって現状の路線維持に苦慮している状況です。その為、病院等へアクセスするバス路線の新設については対応困難と聞いております。

《質疑》

坂下町会

例えば坂下町会で言いますと、会館がございますが、歩いて2～300mくらい坂がありますので、下に住んでいるお年寄りが、もう来れないと、いろいろな会合に出られないと言う方が結構多いです。その中で、相原駅まで歩くことは至難の業でございますので、そういったきめ細かい地域の実情を是非とも把握し、ご対応いただければなと思った次第でございます。

2 狭あい歩道の拡幅について

昨年度も議題として取り上げましたが、相原地区では坂下バス停付近の歩道や相原駅西側の歩道など狭あい歩道が多数あります。特に狭い箇所では歩道幅70cmとなっており、自転車と歩行者がすれ違うのが不可能です。このように特段の交通上の危険がある箇所につきましては、一日も早い歩道の拡幅をお願いいたします。

【回答】

道路部長

議題2の「狭あい歩道の拡幅について」お答えします。

町田街道の坂下バス停や堺中学校付近には、歩道幅員が狭あいな箇所がありますが、当該箇所を含む相原交差点から中央橋までの区間については、2016年に策定された東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）において、東京都施行の優先整備路線となっております。

本要望につきましては、東京都南多摩東部建設事務所長へ対し2021年4月19日に市長及び赤塚副市長から、優先整備路線の早期着手について要請いたしました。

また、町田街道のきらぼし銀行相原支店から大戸交差点までの区間の、開都バス停付近など、狭あいな歩道の拡幅についても、併せて要請しております。

2021年11月2日に開催された知事と市長の意見交換時にも、町田街道の相原方面への区間については、圏央道につながる重要路線であるため、道路整備を要請しました。

大戸交差点から八王子市の館町清掃工場入口交差点までの区間については、第四次事業化計画にて優先整備路線の位置付けがないため、着手時期は未定でございます。

《質疑》

丸山団地自治会

町田街道と16号線の交差する坂下の交差点のところですが、高尾から町田

の方に来ますと右折専用の信号がないため右折車がなかなか曲がれず、どうしても混んでしまいます。大戸踏切はアンダーパスしても、あそこ自体が混んでいると全然意味がないです。早急に解決できるのではないかと思います。それについて何か計画がありましたら教えていただきたいと思います。

道路部長

国道16号の旧道部分だと思いますが、ここの道は狭くて拡幅することが難しいという印象があります。これまで、国道事務所には、交差点改良について相談した経緯はございません。今日、お話し伺いましたので、地元から右折車に伴う渋滞の解消を望むというお話がありましたことを国道事務所に伝えたいと思います。

丸山団地自治会

一般的な話ですが、歩道の段差のバリアフリー化について、町田市はどのように考えていますか。歩道で車イスを押して歩きますと、斜めだったり、段差があったりと、狭いこともそうなのですが、非常に苦勞する場合があります。これは一般論になってしまいますけれども、町田市としては歩道のバリアフリー化ということはどう考えているのか質問したいと思います。

道路部長

これまでは、歩車分離という考え方のもとで車道路と歩道の間、2cmや1cmくらいの段差を設けておりました。車社会中心の時代に作られてきた道路整備はそのように行っていましたが、十数年前からはセミフラット式という、歩車分離のところでブロックが飛び出ている、車道と歩道との段差は5cm程度で車乗り入れの高さが歩道面とフラットになりました。新しく作る道路には、これを採用しています。それは幅員がないとなかなか整備が難しい面もありますが、そのようなバリアフリー対応をしております。既存の道路で段差をなくす整備になりますと、車道を上げる方法が一般的ですが、なかなかそこまで整備が追い付いていない状況です。そのため、将来、今ある歩道についても、作り変えるタイミングが来た際にはセミフラット式を想定しながら整備をしていかないといけないという認識でおります。

丸山団地自治会

今の議論で、うちの副会長から同じ質問がありましたが、町田街道そのものの総幅員がこの相原区域は全然整備されていないということです。市の考え方はよくわかりましたが、東京都へ是非その考えを反映させるように伝えてください。

道路部長

今お話しいただいたことにつきましては、東京都しっかりお伝えいたします。

3 町田街道の渋滞解消について

J R横浜線と町田街道が交わる大戸踏切付近では渋滞が頻発しております。2014年12月に事業認可を取得した当該線路と道路の立体交差計画があると思いますが、この計画の進捗状況をお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題3の「町田街道の渋滞解消について」お答えします。

東京都が進めている大戸踏切立体化事業は、現状の進捗状況を踏まえ、都市計画事業の認可期間が2021年3月から2028年3月まで、7年間延伸されました。

東京都に確認したところ、現在、用地取得を進めており、2021年9月末時点で、用地取得率は約33%に達成していると聞いております。

今後は、立体交差工事中に町田街道を通行止めにしないう、現在の大戸踏切を北側に移設する仮設道路の整備に向け、用地確保を進めいくと聞いております。

《質疑》

(司会) 丸山町会

事業が何年くらいになるのかということは、東京都によるとまだわからないのですよね。

道路部長

事業認可の期間が28年3月までとなっておりますので、まずはそこを目標に進めていくと考えております。

4 相原駅東口の整備状況について

相原駅東口から町田街道にいたる道路の拡幅工事と相原駅東口の整備の計画について詳細をお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題4の「相原駅東口の整備状況について」お答えします。

相原駅東口から町田街道にいたる道路の拡幅工事である、相原駅東口アクセス路整備事業は、2020年3月に策定した「町田市相原駅東口 地区まちづくり構想」に基づき、便利で、にぎわいのある街を目指し、町田街道と駅東口を結ぶ新たなアクセス路として、幅員12mの道路と幅員6mの道路を整備していきます。

計画としましては、配布資料3の平面図上の黄色と緑色に着色した1工区・2工区と書かれている道路が、町田街道と駅東口を結ぶ軸となる12mの道路として整備し、片側幅員3.5mで2車線の車道とその両側に2.5mの歩道を整備し、商業機能やにぎわいを創出できるように電柱のないゆとりある歩行空間を確保してまいります。

赤色に着色された3工区と書かれている道路は、相原駅周辺と町田街道へ続く側道を結ぶネットワークとして、既存の道路を6mに拡幅し、安心して移動できるよう整備してまいります。

進捗としましては、2020年度から用地取得に着手し、併せて無電柱化に向けた占有企業者などとの協議を進めており、2023年度に1工区の工事着手を目指しております。2工区、3工区につきましては、2023年度から用地取得を行い、2025年度から整備工事を行う計画です。

次に、相原駅東口の駅前広場につきましては、現在は広場として利用されておりますが、歩行者や車両が安全に利用するための環境が整っていないことから、駅前での交通環境を整えるために整備するものです。整備面積は約1500㎡となっており、来年度から用地取得及び設計を進め、2025年度の工事着手を目指しております。

今後も、東口アクセス路及び駅前広場の整備については、大戸踏切立体化事業と連携し、2028年3月の完成を目指してまいります。

《質疑》なし

5 相原駅西口と相模原をつなぐ道路の整備状況について

相原駅西口からきらぼし銀行相原支店を通過し、相模原市へ抜ける道路の整備について2019年度の市政懇談会で取り上げさせていただきました。その際のご回答としては、相模原・町田広域交通計画連絡調整会議を実施し、相模原市に整備の促進を要請したとのことでしたがその後の進捗をお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題5の「相原駅西口と相模原をつなぐ道路の整備状況について」お答えします。

相原駅西口からきらぼし銀行相原支店を通過し、相模原市へ抜ける道路である、町田都市計画道路3・4・49号線の進捗としましては、町田市域側においては、工事及び用地取得は概ね完了しております。

一方、相模原市域側の用地取得は、地権者交渉が長期化していることから、2021年2月、町田市と相模原市との首長懇談会にて、市長より早期の用地取得を要請したところでございます。

また、首長懇談会以降も相模原市とは調整を続けており、重ねて、事業の推進を依頼しております。

相模原市に確認したところ、2021年3月時点で、用地取得は4割弱完了していると聞いており、今年度（2021年度）は、用地取得に向けた地権者との交渉を行っており、来年度（2022年度）については、引き続き用地取得と、橋梁工事に向けた設計を行う予定と聞いております。

今後も、相模原市に対し事業の推進を促しつつ、進捗に合わせて、町田市としても用地取得を完了して工事に着手し、早期開通を目指してまいります。

《質疑》

（司会）丸山町会

あの道は狭くて対向車が来ると、真ん中辺で行ったり来たりすると思います。道路が全部広くできれば望ましいですが、反対側の住民の方がいらっしゃるので、向こうから来た車とこちらから行く車が見えるように木を切っていたらいいです。地権者の方がいらっしゃるので難しいとは思いますが、そのような考えを相模原の担当の方にも言っていただけるとよろしいのかなと思います。

丸山団地自治会

橋を付け替えることはまだ時間がかかると思いますが、その前に境川の護岸工事をやらないとできないかと思います。それについても、何か報告とかござ

いましたら教えてください。というのは、護岸工事して橋を作れば、向こうはちょっと狭いですが、用地買収しなくても道が開けています。そっちの方が木もなく向こうが見えるので、橋さえ作ってもらって新しい橋を通っていけば、見やすいと思います。

道路部長

川を渡るので、河川管理者である神奈川県と協議が必要になります。橋梁の設計を挙げていく段階において、神奈川県との協議を相模原市が行うため、現時点で護岸工事については何とも言えないところです。現況の橋を上流側に少しずれて町田市側は新しい道路ができあがっていて、相模原市側にも細い現況の道路があるので、町田市としては、まず橋を作ってそれぞれの道につなげませんかという提案をしております。地権者の絡みもあるので、スムーズに動いてないのが現状ではございますが、引き続き相模原市が交渉を行っておりますので、ご理解のほどよろしくお願ひしたいと思います。相模原市側も承諾をいただく地権者が、残りお二人となっており、一人でもご納得いただければ進捗が大きく変わってくると思っておりますので、相模原市の用地取得の進捗を見守っていきたくと思っております。

相原町仲町会

議題には入っておりませんが、お伺ひしたいことがあります。

大戸地区の資源ごみ処理施設についてお願ひがあります。2026年度に完成予定と聞いております。いろいろご事情があると思ひますけれども、是非相原に力を入れていただきたいです。

もう一つ、境川の改修工事について、朝夕境川を見ておりまして、今日は機嫌がいいか悪いかということがよくわかります。両国橋から二国橋の間は、先ほどのきらぼしの橋あたりもそうですが、崩れやすくなっています。その両岸には大きな木がたくさん茂っており、相模原の市長さんと町田市の市長さんが連携をとっていただきまして、災害事故のないうちに工事を進めていただきたいと思ひます。安全安心して歩ける歩道などを作っていただけたら、我々は大変助かりますので、飛び入りで申し訳ないですが、二件についてお答えをお願ひします。

市長

お尋ねの資源ごみの施設は、プラスチックの中間処理施設を小山ヶ丘に作ろうと前市長が進めておりました。ただ、市民から反対があつて建設されませんでした。既に小山田の方は下小山田、図師に工場を建設していますが、試験稼働が始まっています。着工まで10年かかりました。ごみの問題を考える会ということをして5年間行っていて、それからさらにどこに設置すべきか、あるいは

ここでいいのかという議論をまた5年間やりました。ちょうど4年前に着工して、工事が完了しました。私としては一つ一つ地域の皆さんにご説明をして、仕事を進めるというやり方で事業を行います。今の資源ごみの施設については、今のところ2026年3月まで、4年後くらいには武蔵岡中学校の東側のところで稼働させたいという考えです。資源ごみ処理施設を作りますよという都市計画決定をするという段階に今来ています。地権者の皆さんからは都市計画決定をすることについて、今のところ反対のご意見はいただいていないので、都市計画決定をするという手続きにそろそろ入るといふ段階までおかげさまで来ています。用地買収は税控除の問題で税務署との関係がありますので、きちんとした都市計画決定を行い、売り払いの収益に対する課税についての税金の軽減を行うことになっています。その後、実際に用地買収が進めば、最終的には工事に入るといふことで計画をしています。

下小山田、図師に新しい清掃工場がありますが、下小山田、図師の同じところに清掃工場を建設すると、隣に資源ごみの処理施設があるので、清掃工場を作ると、資源ごみの施設を作ってしまうと一極集中となってしまいます。その時の議論では、清掃工場を仮に下小山田に建設するのであれば、資源ごみの工場はここには建設しないで分散させましょうということになりました。ごみの問題は市民全体の問題であるので、小山田の人たちだけに負担をかけるのはおかしいので、現在プラスチックの処理施設は南地区で稼働していますが、ビン・カン施設は稼働していないので、分散をするのであれば、上小山田と相原と分散しようと7年ぐらい前に計画しました。ごみというのは町田市民全体の問題であるということをご皆さんに理解していただくための施設という位置付けになっていますので、相原地域の皆さんのご理解をいただくということは非常に大きな意義があります。

河川の歩道の話ですが、私も何回か歩いています。河川については、垂直の壁ではなく、護岸ということで斜めになっています。護岸の上に、さらに斜めの上に床材が出ているところがあります。つまり川の護岸の上に床の下が見えるという、曲がりくねった川のところに、住宅がせり出しているところがいくつかあります。特に両国橋から上になると、曲がったところに家が出っ張っています。そういう状況もあって、遊歩道を作るといふような状況ではありません。両国橋から下に行きますと小山地域になりますが、そこには遊歩道ができています。河川管理用通路という市民の皆さんが歩くところですが、それが下の部分にはできています。そこから上の方は、今お話ししたとおり、遊歩道は必要ですが護岸の横に家が建っているため河川改修をしないとできません。ところがあそこの河川改修で具体的な計画がないので、今お話しした遊歩道を作るという前の河川改修をしなければいけないという状況です。そのため、すぐにはできないということをご申し上げたいと思います。

相原町仲町会

今、私が言っているのは、河川改修をした後に安心安全な遊歩道ということで、ご理解をしていただきたいです。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

今年から皆様に「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料をお配りしています。2部でお話しする内容をお渡しするように改善をいたしました。

市政報告の前に、今日の議題のほとんどを道路部長が答えるというような状況です。実はこの前の鶴川地区もそうでした。鶴川地区も道路が多かったのですが、鶴川地域の場合は、川崎市との調整が必要でなかなか進まないという状況です。

道路の問題について、東京都と神奈川県の間境のところは非常に大きな問題を抱えています。もう一つ都県境で抱えているのは、小山地域です。多摩境に動物病院がありますが、あの辺りの道が相模原市に抜けていません。もっと言えば、消防団の詰所近くの尾根幹線も相模原市に抜けず止まってしまっています。つまり、都県境を境に交通がそこで遮断されて止まってしまっているという状況です。これは2日に都知事への要望の中で、東京都に対して町田街道は、多摩ニュータウン道路や尾根幹線などを支えているのにも関わらず、その整備が進まず、相模原市側へ抜ける道の整備も進まないということで、何とか進めていただきたいと強く申し上げました。

今日も同じような内容で、きらぼし銀行のところから相模原市へ行く道についての議題がありました。都県境を跨いでいるので非常に重要な路線です。協同病院へはその道を通れば、直行することができます。実は病院に行くのに皆さん車を使われます。電車やバスを乗り継いで行くよりも、車で行く方が楽です。以前協同病院は橋本駅の近くにあったので電車でも行けましたが、現在は移転して駅から離れてしまったので車で行く方が多いと思います。そのため、先ほども申し上げたとおり、きらぼし銀行から相模原市へ行くのに重要な路線です。相原地域にとっては非常に重要な路線でもあるので、相模原市には早期に整備していただきたいと伝えています。

もう一つ道路の話ですが、館町との市境の道は急に狭くなるので、八王子市から町田市に入ったことがすぐわかります。八王子市内は道を広げていますが、町田市側の整備が進んでいません。東京都には要望しておりますが、難しい状況です。まずは都市計画決定をして、事業の認可を取っていきたいと思っております。

鶴川地域とこの相原地域の道路の問題は非常に重要です。圏央道につながっているところですから非常に重要です。それは高尾だけでなく、相模原インターへ行くにも、やはりきらぼし銀行のところからまっすぐ行くことになりま。相原地域のネットワークは非常に重要です。それが管轄する県が違うということで、全体のネットワークをしっかりと考えることができていません。そこが上手く進まないで、この間東京都の副知事にもお話をしました。相模原市にもこれからもお話していきます。

新型コロナウイルス感染症への対応について10項目くらいにまとめてみましたので、今日お配りした資料をご覧ください。

まずは昨年の4月、5月に行いました、1人10万円の特別定額給付金事業、約432億円です。これは国の予算でやっていました。

子育て世帯臨時特別給付金もやりました。約4億9千万円です。中小企業家賃補助事業は4回実施しました。

医師会の皆さんに2億円の給付をしております。これは入院施設のある病院が対象です。

PCR検査センターが都内で8番目、多摩地域26市の中では1番目に、昨年の4月オープンしました。

その後、ひとり親家庭の臨時特別給付金も行いました。

7番目は、キャッシュレス決済プレミアムポイント事業です。キャッシュレス決済については、Pay Payと連携してプレミアムポイント事業を行いました。約23億円分のプレミアムポイントを市が負担して行いました。

飲食店のデリバリー支援は、出前館に頼んだ時のお店側と消費者側それぞれの費用を市が負担するキャンペーンと、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、約2億円投入しています。

介護サービス事業所支援事業は約2億8千万円、障がい福祉サービス事業継続支援事業は約1,800万円補助をしております。

最後に、ワクチンの接種事業ですが、今現在約8割の人が2回目まで終わっています。高齢者に限って言うと、一昨日の数字で92%近くまで終わっています。これから3回目の接種が始まります。12月から医療従事者の接種を行います。今月中に3回目のワクチンが届くことになっています。1月までに医療従事者を終わらせて、2月から高齢者の方の3回目を始めます。今回は1回目のように、電話やネットがつながらないということは考えられません。なぜかと言うと、6月に2回目を接種した人は来年2月頃、7月に接種した人は来年3月と順番に行っていくというように、8ヶ月を過ぎたら申し込んでいただきます。1回目、2回目の接種は高齢者の方から始まりましたので、2月も高齢者の方から始めます。高齢者への接種が本格化するのは3月、4月になると思います。

まちだ〇ごと大作戦は4年間実施しました。本当にありがとうございました。

実はあいほら夜祭りから実は〇ごと大作戦がスタートしました。そして、12月17日から26日まで相原駅で駅ピアノを設置します。これが最後の〇ごと大作戦になります。町の中心部ではなく、町の遠いところからお祭りはやるべきということが私の主張です。相原から始まり、相原で終わるので、私が皆さんに願ったことを実施していただき、相原の皆さんには〇ごと大作戦の趣旨をしっかりと実現していただいたので改めて御礼を申し上げます。おかげさまで、300事業エントリーしていただきました。参加人数は目標100万人でしたが、200万人の方に参加していただきました。

東京2020オリンピック・パラリンピックについて、自転車のロードレースの時は大変お世話になりました。JA堺支店の前を自転車が通過していきました。皆さんのご協力が無事に実施することができましたので、御礼を申し上げます。

薬師池公園は西園にウェルカムゲートができ、月約10万人来園しています。この9月までで約200万人のお客さんが来園されています。

熱回収施設についてです。2022年1月本格稼働します。ここは生ごみのバイオガス化施設を建設し、生ごみをいきなり燃やさないで、20日くらいかけて、発酵させてガスを発生させ、そのガスで発電をするという施設です。首都圏で初めての施設になります。まずガスを発生させるだけでなく、電気に変えるということも行っています。

資源ごみ処理施設は2025年度、つまり2026年の3月が完成目標です。地域の方のご協力をいただき、おかげさまで完成の目処がつきそうなところまでまいりました。本当にありがとうございます。

中学校の全員給食は、現在教育委員会で基本計画を作っており、市内3か所に給食センターを作る計画になっています。3年後、2025年度頃には、中学校の全員給食が始まる見込みです。給食センターを市内3ヶ所に建設予定ですが、堺中学校は給食センターから運ばないで、ゆくのき学園の給食施設を拡充して、そこから運ぶ予定です。町田市の北部、西の地域は、給食センターを木曾山崎団地の中に建設するという計画ですが、木曾山崎団地から堺中学校まで運ぶことは時間がかかり、食べ物が傷む可能性もあるので計画を変えています。

小・中学校再編計画は全市でやっております。今年5月に出した町田市新たな学校づくり推進計画では、堺中学校と武蔵岡中学校、相原小学校と大戸小学校を統合する、という案を出しています。非常にたくさんのご意見をいただいておりますが、計画についてのご理解をいただければと思います。

最後に、特別養護老人ホームについてです。入所申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は約85%、だいたい85から90%の人が申し込みから1年で入所できるという時代になりました。ただし、原則要介護3以上の人が対象です。

《質疑》

相原町仲町会

これは要望事項ということで聞いていただきたいのですが、この間の衆議院議員選挙で選挙管理人を勤めました。その時に感じたことがあります。もしそういうことが実現されれば、日本中の話題になるのではないかと思います。

投票用紙を投票箱に入れるわけですが、その投票箱が椅子の上に置いてあって、大体の方は何事もなく用紙を入れられますが、高齢者の中には投票箱に用紙を入れようと思ってもなかなか入れられず時間がかかります。行列ができてしまうので、投票用紙を入れるのを手伝おうとするのですが、票の中を見られてしまうということで拒否されてしまいます。何を申し上げたいかというと、投票箱にもっと入れやすくする方法を考えて、町田市で全国の人たちの先鞭をつけることを選挙管理委員会が考えるべきでないだろうかと思っております。

それから、地球温暖化についてです。ふと我が家の周辺を見ましたら、街路灯が点けっぱなしになっています。あの電気代は誰が払っているのかということで、もし町田市の費用でお金を払っているのであれば、電灯を消す時間を30分あるいは1時間早くしたら、省エネ、電力の消費を減らすことができるということを町田市が全国に先駆けて行っていることをメディアとかマスコミに流せば、良いこと宣伝できます。そんなことを思いましたのでご検討いただければと思います。

市長

一件目の話は投票箱を下ろすということをしている投票所がございます。高くてなかなか入れられないのであれば、箱そのものを下に下ろして入れていただければ解決します。是非それをお願いしたいと思います。

二件目は、市全体の街路灯をLEDに変えまして、電気代も3分の1くらいになりました。大幅に電力の削減をしたという実績があります。電柱には電話番号が貼ってあります。電気が点いていない、点けっぱなしということを電話連絡できますので、是非ご連絡をいただきたいと思います。

○閉会の挨拶

相原地区連合町内会長代行